

## 安全で快適な学生生活を送るために

### 立命館大学の情報環境について

立命館大学では、eラーニングや情報教室の整備など、ITによる教育の高度化に取り組んでいます。大学生の学びには、受講科目の登録、課題の作成や提出、情報検索など、パソコンが欠かせません。学内には、学生が自由に利用できるパソコン環境を各キャンパスに整備しています。また、Wi-Fi環境を増強し、学修に必要なソフトウェアを自身のパソコンで使えるようにするなど、オンラインの受講環境も整えています。

#### 情報環境の一例

- 授業や研究に必要なOfficeなどのソフトウェアを提供
- キャンパスの建物内では、Wi-Fiに接続可能
- キャンパス内で自身のパソコンやスマートフォンから印刷が可能
- 学内のITサービスに関するサポート窓口を設置



ICT-Lab.(OIC)

### 学生生活における困りごとの相談窓口

学生部には、学生生活の困りごとや課題などを相談できる4つの窓口(①学生サポートルーム ②障害学生支援室 ③SSP ④保健センター)があります。何を相談すればよいか分からない、どこで相談すればよいか分からない、相談をしてよいかどうか分からない場合は、学生オフィスの支援コーディネーターが、事情をお伺いのうえ、各種窓口の利用方法や相談の進め方をアドバイスすることができる「学生相談の総合案内」を設けています。

学生オフィス  
支援コーディネーター

大学生活、人間関係、将来の不安などを相談したい

学生サポートルーム

身体・発達・精神などの障害がある学生への就学上の支援

障害学生支援室

正課授業と課外活動を通じた自立と成長をサポート

SSP  
(Student Success Program)

ケガ・体調不良 心身の健康について相談したい

保健センター

#### SSP (Student Success Program) について

SSPは学生の皆さんが自立した学び手として成長することを目標とし、学生一人一人のニーズや目的に合わせて支援を選択することができるよう、多様な学習支援を展開しています。具体的には、①ホームページや窓口、Campus Diary 等での支援ツールの配布、②対面やオンライン形式のセミナーによる集団支援、③先輩・仲間 (SSP ピア・サポーター) による小集団支援、④SSPコーディネーターによるアセスメントや個別相談を行う個別支援で構成されています。

### 「学生教育研究災害障害保険」

正課授業中や課外自主活動中の事故などにより、万一ケガ等を負った場合に備えて、本学では学生全員を対象とした「学生教育研究災害障害保険」に加入しています(掛け金は大学が負担しています)。

#### 保険金の対象となるもの

|                        |            |
|------------------------|------------|
| 正課授業・大学行事中             | 実治療日数1日以上  |
| キャンパス内でのケガ             | 実治療日数4日以上  |
| 課外活動中<br>(学友会登録団体等)のケガ | 実治療日数14日以上 |

### 体調が悪くても安心 併設診療所で保険診療も受けられます

学内で、ケガをした、気分が悪くなったなどの場合に、診療や応急処置を行う「保健センター」を衣笠・OIC・BKCに設置しています。医師や看護師が学生の皆さんの健康管理・サポートにあたり、内科・精神科の診療を行っています。定期健康診断をはじめとした健康管理や実習支援、留学支援としてトラベルクリニックの対応なども行っています。



**学部生を対象に、保険医療費の自己負担額を父母教育後援会が補助しています(要申請)。学生たちは安心して受診することができます。**

学校法人立命館ダイバーシティ&インクルージョン  
<https://www.ritsumeikan-trust.jp/diversity/>



学生相談の総合案内  
<https://www.ritsumei.ac.jp/drc/sougou/>



### 父母教育後援会

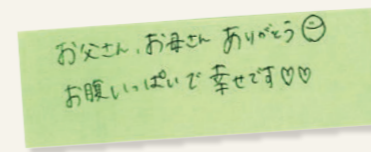
父母教育後援会とは、在学生の保護者の皆さまと共に学生生活を支え、大学と保護者の皆さまをつなぐ組織です。全国各地から学生が集まる立命館大学では、親元を離れひとり暮らしをしている学生も多く、学業だけでなく生活面でもサポートしています。ここでは、活動の一部をご紹介します。

#### 健康な学生生活は朝食から ～100円朝食の提供～

立命館大学では、各キャンパスに食堂があり、開講期間中、学生を対象として100円で朝食を提供しています。これは、朝食を食べることで生活リズムを整えてほしいという思いから、父母教育後援会の支援で始めました。年間のべ約12万名の学生が利用しており、結果として図書館の早朝利用者のべ約3万名増えるなど教育面でも効果を上げています。



早起きして朝食を食べる習慣づけに役立っています。



#### 万が一の場合は卒業までの学費を給付 ～全国にも例のない充実した奨学金制度～

父母教育後援会の会員に万が一の事があり、学費を負担できなくなった時や、自然災害によって居住家屋が被災にあった時でも、学生が修学を諦めることのないよう奨学金制度を整えています。これらは、全て返還不要です。

#### 概要

- 学費負担者である会員が死亡、または重度後遺障害を生じたことにより就労不能となった場合  
→ 卒業までの授業料相当額を給付
- 自然災害により居住家屋が床上浸水以上の被災をした場合  
→ 年間の授業料相当額を給付

#### 受給者の感謝状より

悲しみから前を向くきっかけに。

父が急逝して心の整理がつかないなか、この奨学金のことを知りました。将来に大きな不安を抱えていましたが、奨学金のおかげで修学を続けることができるとわかり、前を向こうと思えるきっかけになりました。これまで以上に恩師や友人と共に過ごせることに感謝して、亡くなった父の分まで一生懸命に生きていこうと思います。

### キャンパスへのご招待

キャンパスで留学や就職などのテーマ別説明会、学部別の懇談会を実施(春のオープンカレッジ、6月)。秋の学園祭にもご招待します。



### 教職員が皆さまのもとへ

全国各地で父母交流会を開催。在校生や卒業生による貴重な体験談が聞け、大学の教職員に直接質問や相談ができる有意義な機会となっています。



### 京都などの歴史や文化を堪能

京都などにまつわるテーマごとにコースを設け、大学の教員の講座を受けた後、教員と共に名所・旧跡を巡ります。毎年、遠方から多数のご参加があります。



### 広がる立命館の輪「卒業生父母の会」

学生たちは大学を卒業すると約42万名の校友の一員となりますが、保護者の方々はご子女の卒業と同時に立命館大学とのつながりを持ちにくくなってしまいます。そのような中、多くの方から「子どもの卒業後も立命館大学の学生を応援したい」とのお声が寄せられ、卒業生父母の会を設立しました。卒業生父母の会に加入することで、保護者の皆さまも立命館ファミリーの一員としてつながり続けることができます。

父母教育後援会  
<https://www.ritsumei-fubo.com/>

